PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

11-144997

(43)Date of publication of application: 28,05.1999

(51)Int.CI.

HO1G 4/35

H018 2/20

H016 4/38

(21)Application number: 09-301929

(71)Applicant: MITSUBISHI MATERIALS CORP

(22)Date of filing:

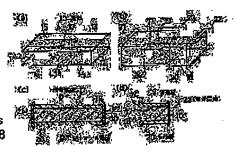
04.11.1997 (72)Invento

(72)Inventor: YAMAKAWA HIROO

(54) THREE-TERMINAL CAPACITOR

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a small threeterminal capacitor for large current wherein various compositions are employed as dielectric composition. SOLUTION: A capacitor component 10 of a box-like dielectric ceramics sintered body comprising six surfaces, from the first through the sixth, terminal electrodes 21 and 22 for signal electrode provided on parallel first and second surfaces of the capacitor component 10, terminal electrodes 23 and 24 for ground electrode provided on parallel third and fourth surfaces of the capacitor component 10, a signal electrode 17 so provided for conduction between the terminal electrodes 21 and 22 for signal electrode, and a ground electrode 18 so provided for conduction between the terminal electrodes 23 and 24 for ground electrode are provided to the three-terminal capacitor. There, the signal electrode 17 is provided on the fifth surfaces 15 of the capacitor component 10, while the earth electrode 11 provided on the sixth surface 16, with a signal electrode



provided on the sixth surface 10, with a signal close 500 17 and a ground electrode 18 which are covered with insulating protective layers 19 and 20, respectively.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出職公開举号

特開平11-144997

(43)公開日 平成11年(1999) 5月28日

(51) Int.Cl.* H 0 1 G 4/3 2/2 4/3	20	FI HOIG	4/42 1/13 4/38	331 A	
-----------------------------------	----	------------	----------------------	----------	--

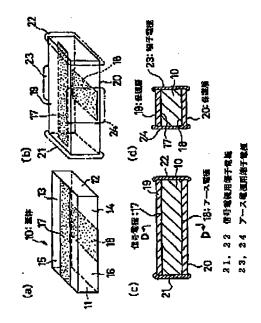
			White Mankows on the sec
(21)出讀書号	特級平9-301929	(71)出資人	000005294 三妻マテリアル株式会社
(22)出版日	平成9年(1997)11月4日	(72)発野者	東京都千代田区大学町1丁目5番1号山川 大楠 埼玉県鉄父郡保護町大学機憲2270番地 三
·		(74)代理人	菱マテリアル株式会社電子技術研究所内 弁理士 草野 順
]	

(64) [発明の名称] 三端子コンデンサ

(57)【要約】

【課題】 誘電体組成物として各種組成物を採用すると とができる小型、大**常**流用三端子コンデンサを提供す

【解決手段】 第1ないし第8の8面を有した直方体状 Ø誘電体セラミックス焼結体よりなるコンデンサ素体 1 0と、酸コンデンサ素体の平行な第1及び第2の面に設 けられた信号電極用端子電極21、22と、該コンデン サ素体の平行な第3及び第4の面に設けられたアース電 極用端子電極23、24と、該信号電極用端子電極同士 を導通するように設けられた信号電極17と、破アース 低極用端子低極同士を導通するように設けられたアース **電似18とを有する三端子コンデンサ化おいて、畝信号** 電極17は、銃コンデンサ素体の第5の面15に設けら れ、設アース電極は酸第6の面16に設けられ、とれら の信号電極及びアース電極がそれぞれ絶縁性の保護層 1 9、20で変われている



(2)

【特許論求の範囲】

【請求項1】 第1ないし第8の8面を有した直方体状の影響体セラミックス焼結体よりなるコンデンサ素体と

1

該コンデンサ索体の平行な第1及び第2の面に設けられた信号電極用端子電極と、

被コンデンサ素体の平行な第3及び第4の面に数けられたアース電極用端子電極と、

数信号電極用端子電極同士を導通するように設けられた 信号電極と、

該アース電極用端子電極同士を導通するように設けられたアース電極とを有する三端子コンデンサにおいて、 該信号電極は、該コンデンサ素体の第5の面に設けられ

数アース電極は酸第5の面と平行な第6の面に酸けられ、

とれらの信号電極及びアース電極がそれぞれ機**縁性の保** 遂暦で覆われているととを特徴とする三烯子コンデン サ。

【請求項2】 第1ないし第6の8面を有した正方体状 20 の誘電体セラミックス統結体よりなるコンデンサ素体 よ

酸コンデンサ条体の平行な第1及び第2の面に設けられた信号電極用後子電極と、

族コンデンサ素体の平行な第3及び第4の面に設けられたアース電極用端子電極と、

該信号電極用端子低極同士を導通するように設けられた 信号電極と、

酸アース電極用線子電極同士を導運するように設けられたアース電極とを有する三錦子コンデンサにおいて、 酸信号電極は、酸コンデンサ素体の第5の面に設けられ、

数アース電極は設コンデンサ条体の内部に設けられ、 第5の面の設行号電極が絶縁性の保護層で覆われている ことを特徴とする三端子コンデンサ。

【請求項3】 互いに平行な第1及び第2の面、第3及 び第4の面並びに第5及び第8の面を有した直方体状の 誘電体セラミックス統結体よりなるコンデンサ素体と、 設コンデンサ素体の設第5の面に第1の面から第2の面 にまで達するように設けられた信号電極と、

設コンデンサ素体の数第6の面に第3の面から第4の面 にまで達するように設けられたアース電極と、

を有したコンデンサ単位片を、複数個、各コンデンサ単位片の該第5の面と第8の面とが対面するように両者の間に絶縁材を介して積層して積層体とし、この積層体の外面に各倍号電極に導通した信号電極用端子電極と各アース電極に導通したアース電極用端子電極とを設けてなる三端子コンデンサ。

[請求項4] 互いに平行な第1及び第2の箇、第3及 び第4の面並びに第5及び第6の面を有した直方体状の 50

誘電体セラミックス焼結体よりなるコンデンサ素体と、 致コンデンサ素体の酸第6の面に第1の面から第2の面 にまで達するように設けられた信号電極と、

酸コンデンサ素体の内部に第3の面から第4の面にまで 速するように設けられたアース電極と、を有したコンデ ンサ単位片を、複数個、各コンデンサ単位片の酸第6の 面と第6の面とが対面するように積層して積層体とし、 この積層体の外面に各信号電極に導通した信号電極用端 子電極と各アース電極に導通したアース電極用端子電極 とを設けてなる三端子コンデンサ。

【発明の詳細な説明】

[0001]

(発明の属する技術分野) 本発明はノイズフィルタ等として用いられる三端子コンデンサに係り、特に小型で信号電極に大電流を流すことができるように改良された三端子コンデンサに関する。

[0002]

【従来の技解】従来の三端子コンデンサの無略的な構成について図5(a)、(b)を参照して説明する。図5(a)は従来の三端子コンデンサの模式的な斜視図、図5(b)は図5(a)のB-B線に沿う断面図である。【0003】との三端子コンデンサ1は、直方体状の誘電体2内に複数の信号電優3とアース需極4とを交互に関隔をあけて配置したものであり、信号電優3は誘電体2の長手方向に延設され、アース電優4は誘電体2の短手方向に延設されている。各電優3、4は誘定体2の始面に達しており、信号電優3は誘電体2の長手方向の両端面に形成された信号電極用端子電優5に導通してい

30 【0004】またアース電極4は緊電体2の短手方向の 両帰面に形成されたアース電極用端子電極8に導通して

[0005] この三端子コンデンサ1は、誘電体組成物のシート状のグリーン成形体に電極材料を印刷してのシート状物を積層し、焼成して一体化させた後、切断し、 増面に端子電極を形成することにより製造されている。 [0006] この電極材料としてはPd (パラジウム) 又はPd合金やAg (銀)、Ag合金、Ni (ニッケル)、Cu (鋼)が用いられている。

40 [0007]

【発明が解決しようとする課題】三端子コンデンサの信号電極に大震流を流しうるようにするためには、信号電極を低抵抗化する必要がある。

[0008] 従来用いられているPd系電極材料は抵抗が大きいのでこの点において不利である。(ただし、融点が高いので関電体組成物が焼結温度が高いものでも良いというメリットがある。)Ag系、Cu系の電配材料は抵抗が小きいのでこの点において有利であるが、融点が低いので誘性体組成物としても低温で焼結する組成物を採用する必要があり、誘電体組成物として採用しうる

特照平11-144987

(3)

組成物館囲が狭まってしまうという短所がある。

[0009]なお、NiやCu系電弧材料の場合、焼成 時の酸化を訪ぐために强元性雰囲気で焼成する必要があ ることから、誘電体組成物としても還元焼成できるもの に限られてしまうという短所がある。

[0010]本発明は上記の種々の問題点を解決し、誘性体組成物として各種組成物を採用することができる小型、大電流用三端子コンデンサを提供することを目的とするものである。

[0011]

【課題を解決するための手段】本発明(請求項1)の三端子コンデンサは、第1ないも第6の8面を有した直方体状の誘電体セラミックス焼結体よりなるコンデンサ素体と、該コンデンサ素体の平行な第1及び第2の面に設けられた信号電極用端子電極に、該コンデンサ素体の平行な第3及び第4の面に設けられたアース電極用端子電極同士を導通するように設けられたアース電極と、該庁号電極と、該アース電極用端子電極同士を導通するように設けられたアース電極とを有する三端子コンデンサにおいて、該信号電極は、鉄コンデンサ素体の第20両に設けられ、数アース電極は設第5の面と平行な第6の面に設けられ、でれらの信号電極及びアース電極がそれぞれ絶験性の保護層で覆われていることを特徴とするものである。

[0012]本発明(請求項2)の三端子コンデンサは、第1ないし第8の6面を有した直方体状の誘電体セラミックス携結体よりなるコンデンサ衆体と、酸コンデンサ衆体の平行な第1及び第2の面に設けられた信号電極用端子電極と、酸コンデンサ衆体の平行な第3及び第4の面に設けられたアース電極用端子電極と、酸信号電台、設プース電極用端子電極同士を導通するように設けられた信号電位と、設プース電極とを有する三端子コンデンサにおいて、該信号電極は、酸コンデンサ素体の第5の面に設けられ、競アース電極は酸コンデンサ素体の内部に設けられ、第5の面の酸信号電極が維護性の保護層で覆われていることを特徴とするものである。

(0013)本発明(設求項3)の三端子コンデンサは、互いに平行な第1及び第2の面、第3及び第4の面並びに第5及び第8の面を有した直方体状の診匿体セラミックス燃結体よりなるコンデンサ素体と、設コンデンサ素体の設第5の面に第1の面から第2の面にまで達するように設けられた信号電極と、設コンデンサ素体の設第6の面に第3の面から第4の面にまで達するように設けられたアース電極とを有したコンデンサ単位片を、複数個、各コンデンサ単位片の設第5の面と第6の面とが対面するように両者の間に絶縁材を介して積層して被層体とし、この積層体の外面に各層号電極に導通したアース電極用端子電極と各アース電極に導通したアース電極用端子電極とを設けてなるものである。

(0014)本発明(館求項4)の三端子コンデンサは、互いに平行な第1及び第2の面、第3及び第4の面並びに第5及び第6の面を有した直方体状の誘電体セラミックス機能体よりなるコンデンサ素体と、該コンデンサ素体の設第5の面に第1の面から第2の面にまで達するように設けられた信号電極と、該コンデンサ素体の内部に第3の面から第4の面にまで達するように設けられたアース電極と、を有したコンデンサ単位片を、複数個、各コンデンサ単位片の酸第5の面と第6の面とが対面するように積層して積層体とし、との積層体の外面に各信号電極に導通した「一人電極用端子電極と各アース電極に導通したアース電極用端子電極と各アース電極に導通したアース電極用端子電極とを設けてなるものである。

(0015)かかる本発明では、信号電極をコンデンサ 素体の外部に致けており、コンデンサ素体を接結した後 に信号電極を形成するため、コンデンサ素体として信号・ 整極の材質に関わりなく種々のものを選択できる。ま た、信号電極としても低温焼き付けするものや導電性合 成樹脂を用いることができる。

0016

[発明の実施の形態] 図1は実施の形態に係る三端子コンデンサを示すものであり、(a)図は三端子コンデンサ素体の斜視図、(b)図はこの三端子コンデンサ素体に絶縁性の保護層を設けた斜視図、(c)図は三端子コンデンサの長手方向の新面図であり、(d)図は(c)図のD-D線に沿う断面図である。

[0017]とのコンデンサ条体10は、面11~16を有した直方体形状のものであり、素質体組成物のチップ状態結体よりなる。とのコンデンサ素体10の一方の主板面15に信号器極17が設けられ、該主板面15と平行な他方の主板面16にアース種を18が設けられている。信号環保17は互いに平行な第1及び第2の面(端面)11、12に達するように主板面16の中央部を素体10の展手方向に延設されている。アース電極18は互いに平行な第3及び第4の面(側面)13、14に達するように主板面16の中央部を案体10の短手方向に延設されている。

[0018] この主板節15、16及びその上の電極17、18を覆うように保護暦19、20が設けられている。保護暦としては、外部報極材料を金属とする場合はガラスを用い、導伝性検貼とする場合は樹脂を用いるのが好ましい。

【0019】との保護費19、20が設けられた条体10の協面11、12に信号電極用端子電優21、22が設けられ、側面13、14にアース電電用端子電優23、24が設けられている。

[0020] との三端子コンデンサにあっては、信号電 極用線子電極21、22間に信号電流を流し、アース電 極用端子電極23、24の一方(又は双方)をアースし でおき、信号電流に重畳する高調波ノイズ成分をアース (4)

特用平11-144997

に逃す。

[0021]との三端子コンデンサを製造する場合、誘 電体セラミック組成物のグリーンなシート状物を乾燥及 び焼成して誘電体セラミック板とし、この誘電体セラミ ック板の一方の板面に信号電低用電極材料を印刷し、他 方の板面にアース電極用電極材料を印刷し、次いで電極 材料を焼き付ける。次に、保護層を形成した後、との誘 国体セラミック板をチップ状に切断して保護層付きのコ ンデンサ緊体10とする。とのコンデンサ素体10の瞬 而11、12に信号電極用端子電極21、22を形成 し、側面13、14にアース電極用端子電極23、24 を形成する。

5

【0022】とのように露電体セラミック組成物を廃成 した後に信号電極用電極材料及びアース電極用電極材料 を印刷、焼き付けにより形成するものであるから、酵電 体組成物として信号電極用及びアース電極用電極材料に 配慮することなく焼成温度の高いもの、あるいは酸化学 囲気で焼成するものを採用できる。

【0023】また、信号電極用及びアース電極用の電極 材料として焼き付け温度の低いAg系、Cu系のものを 20 【0093】図3、4は上記の~⊕のようにして製造さ 用いることができる。このAg系、Cu系の電極材料は 抵抗が小さく、大電流を流すことができると共に、安価 であるというメリットを有する。さらに、との信号電極 用及びアース電極用は、焼粕済み誘電体セラミック組成 物に形成するものであるから、厚さを自在に調整すると とができる。

【0024】なお、三端子コンデンサにおいて大電流が 流れるのは信号気値であるから、本発明では図2に示す ように信号電極のみをコンデンサ素体10の外面に配置 し、アース電極については素体10の内部に埋設された 30 られている。 内部価値としても良い。この内部価値としてのアース電 極18の材料はコンデンサ素体の酸電体材料に応じて選 定すれば良い。このアース電極をPd系電極材料で形成 した場合であっても、ノイズ信号程度の微小電流は十分 に流すことができる。

【0025】なお、図2の三端子コンデンサを製造する には、内部電極としてのアース電極材料を印刷した誘電 体セラミック材料のグリーンシートと、この印刷を施し てないグリーンシートとを重ね合わせて廃成し、次いで この板状焼成体の一方の板面に信号低極材料を印刷し、 焼き付ける。その後、との板状体のとの一方の板面に保 護贈19を形成した後、チップ状に切断し、各端子電極 21~24を形成する。

【0026】本発明においては、直流抵抗や静電容量等 の電気特性を調節する目的で、図1、2のコンデンサを 図3、4のように複数積層しても良い、貼り合わせに は、貼り合わせ剤を用いる方法と、特には貼り合わせ剤 を用いず、乾燥前の外部電極材料やその保護材料を利用 する方法がある。との場合、具体的には次のロータの方 **法により領居体とすることができる。**

[0027] O 図1(a)の電極17、18のみを形 成したコンデンサ紫体10を絶縁層を介して積層する。 (0028] ② 図1 (a) のコンデンサ素体10の板 面15、16の少なくとも一方の面に保護層を形成した 後積層する。

[0029] ② 図2(a)の電極17、18のみを形 成したコンデンサ素体10を概屈する。

【0030】 4 図2 (b) の保護層18を形成したコ ンデンサ索体10を積層する。

10 【0031】貼り合わせ剤を用いる方法では、図のコン デンサの貼り合わせ面にシリコンオイルを譲布すること により貼り合わせを行う。また、貼り合わせ剤を特に用 いない方法では、①、②の場合は外部電極の乾燥前に貼 り合わせを行い、その後に乾燥、焼付し、②、④の場合 は保護層の乾燥前に貼り合わせを行い、その後に保護層 を乾燥、硬化させる。

【0032】①~②のいずれの場合も、最後に場予電極 を形成し、引き続き電解N(めっき、半田めっきを行

れた三端子コンデンサの断面図であり、図3では信号は 極17及びアース包極18を外面に有したコンデンサ素 体10(コンデンサ単位片)が、複数個、各コンデンサ 当体10の間に絶縁層30を介在させて積層されてい る。この技層体の最上面の信号電極17と最下面のアー ス電攝18を獲う保護層31、32が設けられている。 との積層体の再端面に各信号電極17に導通する信号電 租用端子電極39が設けられ、残層体の両側面に各アー ス電極18に導通するアース電極用端子電極34が設け

【0034】図4の三端子コンデンサでは、外部信号電 極17及び内部アース電極18を有したコンデンサ素体 10が複数個接合層35を介して積層され、積層体の外 面に信号電極用端子電極33とアース電極34とが設け られている。最上面の信号電極17は保護層31で覆わ れている。

[0035]なお、図3、4は模式図であり、コンデン サ素体の積度数は図示のものに限定されない。

【0036】上配実施の形態では信号電極をコンデンサ 40 紫体の長手方向に延設しアース電極をコンデンサ素体の 短手方向に延設しているが、逆にアース電極をコンデン サ紫体の長手方向に延数し信号電極をコンデンサ素体の 短手方向に延設しても良い。

[0097]本発明において、コンデンサ繁体の外面に 設ける電極の厚さは1~500μm程度が好ましい。と の外部電極材料としては銀、銅、ニッケル、導電性合成 樹脂、鉞とパラジウムとの混合導体などを用いることが T85.

[8800]

50 【発明の効果】本発明の三端子コンデンサでは、焼成後

(5)

特開平11-144997

の誘電体の外部に低抵抗率の導体を形成するため、 の直流抵抗を容易に低くできるので、多層薄層化の必要 もなく小型化にも有利である。また、信号電極の厚みを 増加させることにより、さらに直流抵抗を低下させるこ とが可能である。

[0038] ②低温焼結誘電体材料や湿元芽囲気中で焼 成可能な誘電体材料を新たに開発する必要がない。

[0040] ②本発明によって新たにクラックやデラミネーションの問題を生じることがない。

[0041] ②外部電極にはバラジウムのような高値な 10 導体を用いなくても良いので低コストである。

(0042) ⑤構造が簡単なので製造が容易である。

[0043]といった利点を有する。

【関節の簡単な説明】

【図1】実施の形態に係る三端子コンデンサの説明図で*

* ある。

(図2) 別の実施の形態に係る三端子コンデンサの説明 図である。

(図3) 積層タイプの実施の形態に係る三端子コンデン サの断面図である。

【図4】別の積層タイプの実施の形態に係る三端子コン デンサの断面図である。

【図 5 】従来の三端子コンデンサの説明図である。 【符号の説明】

10 コンデンサ緊体

17 信号電極

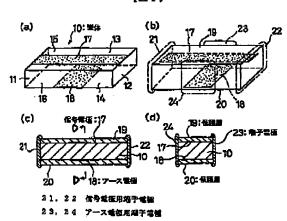
18 アース電極

19.20 保護層

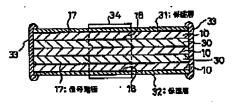
21,22 信号電極用端子電極

23.24 アース電極用端子電極

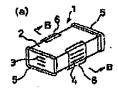
[図1]



(図3)

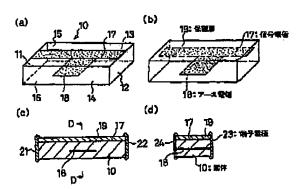


[図6]





[32]



- AUG. 16. 2005 4:09PM

(6)

特開平11-144997

[図4]

